

針刺し事故 迅速検査システム

by 桜新町アーバンクリニック

HRSS



針刺し事故により起こりうる最大のリスクは、血液を媒介した HIV、B 型肝炎、C 型肝炎などへの感染です。しかし、病院と違って地域で活動する訪問看護ステーションなどでは事故のサポート体制がありません。特に感染症が不明の場合には病院に受診しても適切な治療を受けられません。当院では、地域で働く医療者の安全確保のために、「針刺し事故迅速検査システム HRSS」を立ち上げました。針刺し事故が起きたときは、ぜひご相談ください。

針刺し事故をしてしまったら、
すぐお電話ください！

桜新町アーバンクリニック在宅医療部

03-5716-5220

平日 9:00~18:00 / 担当：看護師 坂詰

HRSS のフロー

1 針刺し事故が発生！！！！

- 桜新町アーバンクリニック在宅医療部にすぐ電話。
〈針刺し事故発生、名前、所属〉を伝える。
- 同クリニック在宅医療部に行き、「針刺し検査キット」を受け取る。
※外来と場所が異なるのでご注意ください！（世田谷区用賀 2-15-5-2F）

桜新町アーバンクリニック
在宅医療部

03-5716-5220

(平日 9:00~18:00 / 担当：坂詰)

2 利用者の採血をしてください

- 利用者に説明・同意書にサインをもらい、採血をする。
- 検体はすみやかに同クリニック在宅医療部に持参。
※同意書は「針刺し検査キット」に入っています。



針刺し検査キット

持参するもの

- ・ 検体：生化学スピッツ 3 本（うち 1 本：6ml 以上 / 2 本：2ml 以上）
- ・ 同意書：採血実施者が利用者からもらってください

3 利用者の HBV、HIV の感染の有無を迅速検査します



同クリニック在宅医療部にて、HBV と HIV の迅速検査を実施。

1 時間ほどで結果がわかります。

4 感染が判明したら、基幹病院の受診につなげます

針刺し事故による感染を予防するために、以下が推奨されています。

利用者が HBV 陽性者の場合：48 時間以内に、抗 HBs 人免疫グロブリン接種

利用者が HIV 陽性者の場合：72 時間以内に、予防内服開始